

国語科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継続している「学習の振り返り」の項目等の様式として</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ [両面印刷] [A4横置き] のプリントを使用。「学びのプラン」と呼んでいる。 ○ 毎時間の終末、オモテ面に「どんなことに取り組んだか」「どんなことが分かったか、出来るようになったか」「印象に残る（教材中の・活動中の）言葉や出来事」をメモしておかせる。 ○ 裏面を単元末に清書。項目は①今回こだわって考えた（表現した）言葉、 ②学習を進めるうえで「刺激」となったこと、 ③今後に向けての決意や課題 オモテ面に残るメモを参考にさせる。 ○ 評価方法は、清書の文面に2色の線引き。上の①について、全体にも広めたい、読ませたいような深まりのある表現があれば1色目の線を引く。②、③については、新たな気付きや前向きかつ具体的な姿勢の感じられる表現があれば2色目の線を引く。1色のみで「B」評価、2色そろえば「A」評価としている。 ○ 項目②の「刺激」…具体的なものとしては、友人の活動ぶり、友人の表現内容、指導者の声かけ、先輩の残した表現物の内容などがよく挙がっている。 「刺激」という表現については、その意図が生徒に理解されるか懸念された。しかし結果を見ると、見たり聞いたりした感覚と記憶に訴える、振り返りに適した表現であると判断する。 ○ 「学びのプラン」の「活動内容」「身に付けたい力」は学習者がその時間で学ぶべきことが可視化され、毎時間追認できるので、有効であった。
----------------------------------	--

<p>の、「学習の振り返り」の変更した項目や指示などもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 「学びのプラン」使用初期は、裏面の清書について①②③の項目別に記すのではなく、自由な文章表現を求めていた。その中から、①②③に該当するような表現を読み取って線引きを施していたのだ。しかし、その作業に煩雑さが感じられるようになり、また、①と②③の区別に迷う表現が散見する難点があった。そのため、年度半ばから①・②・③の項目別にまとめさせるようにした。 ▼ 「学びのプラン」を活用する頻度が問題となる。「学びのプラン」は、まずもって学習の見通しを立てられるよう「活動計画」と振り返りをセットにした様式である。評価に追われることとならぬよう、要所の単元で完全版、その他は前者「活動計画」のみ版を使用するような年間の見通しが求められる。 ▼ 項目①今回こだわって考えた（表現した）言葉については当初、思考・判断・表現を測る表現物と照らし合わせると、「こだわった」というよりも「好きだった、印象に残った言葉」と捉えている生徒もいた。「類義の言葉・表現と比較する等して語意を考えたり、推敲したりすること」がこだわりであるという補足説明が必要となった。 △ 今後の改善策を挙げる。例えば、思考・判断・表現を測る表現物（ワークシート）と「学びのプラン」振り返り①②③が一覧できるような形式を考えたい。つまり、「読みの成果」と振り返り①を照合しやすくすることで、今回どんな言葉にこだわったのかが確かに掴みやすいのである。
----------------------------------	--

社会科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>「学習の振り返り」の様式として継続している項目等</p>	<p>○ [片面印刷] [A3横置き] のプリントを使用。特に名前はついていない。</p> <p>○ 用紙の左半分には、単元で学ぶ重要用語の一問一答問題となっている。左半分は、①「単元のめあて」②「学習問題の予想」毎時間の学習で③「印象に残っていること（先生や友達の発言・動画・資料をメモ）」の記録させる。</p> <p>○ 単元末に「単元のめあて」に対する問題解決を60～75字程度にまとめる。①毎時のワークシートを参考にさせる。（思考力・判断力・表現力の評価とする。）</p> <p>○ 単元末に「今回の単元で、自分のどんな『学びの力』が伸びたか」に関する総括を文章で表現させる。①毎時のワークシートに記録した「学びの力」チェック表を参考にさせる。チェック表の指標は「自分の『学びの力』の質」「自分と学友とのかかわり度」である。</p> <p>○ 単元末に「今回の単元で新たにどのような疑問や考えが生まれましたか。」「今後も考え続けたいことは何ですか。」「自分の生活に生かしたいことは何ですか。」に対して記述させる。評価規準として「単元を貫く問い」もモデルにして、思考力・判断力・表現力を生かして、新たな問い、考え続けたい問題、自分に生かしたい事象を発案できたかである。評価基準はAは学習の転移がみられる記述、BとCは学習の豊富化がみられる記述であり、Bは社会的事象の経過や構造・特色にかかわる疑問や記述。Cは事実関係に関する疑問や記述で評価する。（今後再検証が必要）</p>
---------------------------------	--

<p>もの「学習の振り返り」の断念・変更した項目や指示など</p>	<p>▼ 「学びの振り返り」使用初期は、生徒が毎時間記述させる時間を確保することが大変困難であり、授業時間内で書かせることができなかった。そのため簡単なメモ程度を書かせることにした。</p> <p>▼ 毎時間『学びの力』の簡単なチェック表を記入させることにした。</p> <p>▼ 「学びの振り返り」で生徒が書いた記述内容にワンパターン化がみられた、単元独自の記述がみられなかった。そのために評価が2分法となってしまいがちであった。そのため、教科独自の評価規準と評価基準を立て、生徒の記述を「学びの移転」「学びの深化」が分かる記述の例、「知識の構造化」が分かる記述、「単純な知識の豊富化」が分かる記述の例をもとに評価することにした。</p>
-----------------------------------	--

数学科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継続している項目等「学習の振り返り」の様式として</p>	<p>(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『振り返りシート「P&G」』を単元テスト後に、A4縦のシートで実施。 <ul style="list-style-type: none"> ①単元テストで間違っただけの問題の中で特に頑張りたい問題を選び、ポイントを押さえてまとめさせる。つまづきや次に間違えないための方法が書かれているものは2点、やり直しただけのものは1点で評価する。 ②単元を通して、「できるようになったこと」「学習後に出てきた疑問」などを振り返らせる。単元のよさに気付いたり、分かったこと、疑問などを数学的な言葉や授業で習ったことを用いて表したものは2点、感想のみは1点で評価する。 <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『振り返りシート』を節ごとに実施。「理解の自己評価」「ポイント」を記入させる。正しく書くことができている場合は「B」、重要な箇所が理解できており、自分なりのまとめができている場合は「A」で評価する。 ○『〇〇の学習を終えて』を単元テスト後に実施(10分間)。単元での「試行錯誤の経験」や「学習への向き合い方」について、記述させる。 <ul style="list-style-type: none"> 「意欲的に学習に取り組んでいる」姿がわかる記述があれば「B」、「修正したり、工夫したりして学習に取り組んでいる」姿がわかる記述があれば「A」で評価する。 <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○図形領域において、『振り返りシート』裏面にウェビングマップづくりに取り組み、学習内容の関連付けを意識させた。
---------------------------------	--

<p>断念・学習の変更した項目や指示など「学習の振り返り」を試行したものの、</p>	<p>(1年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼初めに使っていたシートでは、つまづいたポイントとやり直ししか書く欄がなかったので、教科に対するこだわりや思い入れといった「粘り強さ」を評価しにくかった。そこで、単元を通して学んだことや興味を持ったことを書く欄を追加した。 △単元ごとに行ったことで、図を使ったり、教科書からポイントをもってきたりと、回を重ねる毎に、生徒たちが工夫をして問題を解決しようとする姿勢が見られた。 <p>(2年)</p> <ul style="list-style-type: none"> △今後は、粘り強さの側面をどう見取り評価していくかを考えていく必要がある。単元ごとに授業のようすで見取っていくとともに、長期休業を利用したレポートで、どのように数学を活用しようとしているかを見取る方法もあるのではないかと考える。 <p>(3年)</p> <ul style="list-style-type: none"> △図形領域では、図形の性質を活用することができるように、ウェビングマップづくりに取り組んだが、「関連付け」ながら作成していくことに生徒は難しさを感じたようであった。数学らしさを感じさせる様式に変更する必要がある。
--	--

理科の「学習の振り返り」トライ・リスト

継続「学習の振り返り」の項目等	3年生	1~2年生
	<p>○A 4片面印刷 名称：授業の振り返り 授業終了前5分間で記入。</p> <p>○毎時間書かせる事 日付、めあて、授業の内容、授業の理解度、感想や疑問</p> <p>○定期的に書かせる事 ①テスト後のテストの振り返り。 書き方は次回のテストで点数を取るためにどのような学習をするべきかを考えて書かせる。 ②思考、表現力を確かめる問題 例1)世の中から蚊がいなくなったらどうなるか食物連鎖の観点から書いてみよう 例2)オリジナルの電離式を書こう</p>	<p>○ルーブリック評価による振り返り →課題に対する説明文を書かせ評価基準(A~C)を基に評価する。</p> <p><良い点> ○授業に対してゴール(目標)が明確になる。 ○主体的に記述しようとする生徒が多く見られている。 ○学習内容を整理することができる。</p> <p><課題点> ▼毎時間のプリント作成・評価が大変。 ▼思考力・判断力・表現力の評価や知識・理解の評価には扱いやすいが、“主体的に学習に取り組む態度”を見取るルーブリック評価には行き届いていない。</p>

断念「学習の変更した振り返り」の項目や指示など	3年生	1~2年生
	<p>①授業の内容では、1時間の授業で特に重要だと思うことをまとめる。絵や表を使ってよい。後で見た時にその日の授業内容を思い出せるように書く。</p> <p>②授業の理解度は、A~Eで自己評価。成績には反映させず、テスト前に見直す所として明確化させる。</p> <p>③感想や疑問は、自由記述。時には思考・表現力を確かめる問題の解答欄として使用。</p> <p>【課題】 ▼①を評価するのが難しい。 ▼②でC~E評価だった内容のフォロー。 ▼③に粘り強さと試行錯誤の側面についての記述をさせていきたい。</p> <p>【解決方法】 △日々の授業で振り返りシートを記入し、単元の最後に「単元の振り返り」として粘り強さ・試行錯誤の側面を評価する。 △テストの振り返りを1枚のシートにまとめ、試行錯誤の課程を一覧で見ることが出来るようにする</p> <p>【実践】 ・改良した振り返りを全学年で統一して実施する。 ・どの文言を高評価にするかを教科部会で検討。</p>	<p>①振り返りシート ・章ごとに時数・めあて・学習内容をあらかじめ書いたプリントを準備。 ・学ぶ努力・話し合いの観点についてA・B・Cで自己評価させる。 ▼授業のポイントやわからなかったことを振り返り、次回の自分への項目に「~をできるようになる」などを記述させ、自己調整力が垣間見られればと考えたが、難しいものがあつた。</p> <p>②イメージマップ ・単元の授業前に既存の知識でマップを作り、学習後、色を変えてマップを広げさせる。 ▼広がり方やつながり方をどう評価につなげればよいのか、考えていく必要がある。</p>

音楽科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継続している項目等 「学習の振り返り」の様式として</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○授業の導入でめあてを確認し、授業の終わりに自己評価（A・B・C）と学んだことを具体的に書かせている。 ○単元テストの中で、できるようになったこと、頑張ったことなどを考え、感想を書かせている。 ○鑑賞教材を終えた後に、授業で学んだ知識、知覚、感受したことを生かして紹介文を書かせている。 ○評価は、項目による加点方式で5段階評価をしている。
--------------------------------------	---

<p>断念・変更した項目や指示など 「学習の振り返り」として試行したもの、</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▼単元テストの中の感想の書かせ方で、具体的な問いかけや指示が必要と感じた。そのため、2学期の単元テストではきっかけカードを参考に指示を出した。 △「友達の意見を聞いてこんな意見に変わりました。」といった粘り強さを高めるために、話し合い活動を適宜設定する。また、教科の用語が出てくるような発問をする。全員がAになるようAの基準を明確に伝える必要がある。書く力が低い生徒は話を聞き評価する。 △自己調整力の評価では、できるようになるための学習の過程が分かるような発問をする。友達の話を聞いて考えたことを書かせる。きっかけカードを活用する。
---	---

美術科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継続している項目等「学習の振り返り」の様式として</p>	<p>1 「中間鑑賞、完成作品の振り返り」 …A4ワークシートの項目としては、①作品の説明 ②級友の作品鑑賞や説明を聞いてからのメモ ③本時の振り返りとして「次につながる新たな発見」したことを記述する。</p> <p>2 「思考ボード」 …主題の決定、発想から構想を練るなど、題材の制作過程の節目ごとに考えたこと、考えていること等を付箋に記述する。生徒氏名を載せたA3コピー用紙をラミネートしたものに付箋を貼っていく。</p> <p>ねらいとしては…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がどのような作品にしていきたいのか言葉にすることで、頭の中を整理する。見通しをもつ。 ・次の時間の課題解決に向けて、制作で悩んでいることなどを言葉にする。 ・級友が、どんなことを考えて制作しているのか知ること、参考にする。
---------------------------------	--

<p>「学習の振り返り」 断念・変更したものの、 として試行したものの、 項目や指示など</p>	<p>1 「中間鑑賞、完成作品の振り返り」</p> <p><u>* 鑑賞する視点の提示 *</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をなんとなく鑑賞するのではなく、具体的に鑑賞する視点を設定、提示することで見方、考え方が深まるのではないかと考えた。ワークシートに鑑賞する視点を示すこととした。 <p><u>* 具体的な評価基準の設定 *</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を再考し、より具体的な評価基準を設定することにした。 <p>①作品の説明</p> <p>「C」…書いてない。書いているが明らかに投げやりな記述をしている。 「B」…書いてはいるが、どの題材でも書けそうな記述をしている。 「A」…形や色、イメージなどの「造形的な視点」で捉え、その根拠を具体的に記述している。</p> <p>③振り返り</p> <p>「C」…書いてない。書いているけど明らかに投げやりな記述をしている。 「B」…書いてはいるが、どの題材でも書けそうな記述をしている。 「A」…見方や考え方を広げたり、共通点を気づいたり、より具体的に自分なりの言葉で記述している。</p> <p>※ 生徒には、①については、根拠を具体的に記述すること。③については、見方や考え方を広げたことを具体的に記述するよう補足説明した。今後は、ワークシートの裏面に「A」評価の記述例を載せて、生徒の参考にしたい。</p>
--	---

「学習の振り返り」
断念・変更した項目や指示など

2 「思考ボード」

活用の仕方

- ・本時の目標を実現しようとしているか。
- ・前時までの記述を振り返り、それらを踏まえて記述しているか。
- ・学習した内容に対する関心・意欲が表れているか。

これらの項目で、評価の材料として活用しようとしたが、準備、制作、片付けの時間確保のために至っていない。ただ、この「思考ボード」の活用については、生徒の制作途中の思考等の把握や、作品の評価時の参考程度にしたい。この付箋は振り返り時に生徒に返却して、生徒が積み重ねた試行錯誤の跡として記録させたい。

保健体育科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継続している項目等</p> <p>「学習の振り返り」の様式として</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価項目によつての振り返り。 ・授業の最後に授業の振り返りを記入。本時のめあてや技能のポイント、コツ、友達や先生からのアドバイスなどを記入する。個人での振り返りやペア、グループに分かれての振り返りをする。 ・生徒が記入した振り返りを全体で発表することによつて、めあてや授業のポイント、技能のポイントなどを全体で共有する。 ・それぞれの単元ごとに重要な技能を毎時間行い、技能の定着を図る。
---	---

<p>項目や指示など</p> <p>「学習の振り返り」断念・変更した試行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が授業の振り返りを記入しやすく、振り返りが行いやすいプリントの作成をめざし、試行錯誤しながら行った。 ・授業や単元の振り返りのみで終わっているため、日常生活に結びつくような振り返りができなかった。
--	--

技術・家庭科の「学習の振り返り」トライ・リスト

<p>継「 続学 し習 ての 振返 り項 目等 」 の 様 式 と し て</p>	<p>【技術分野】</p> <p>○単元の振り返りとして、A4サイズのシートを使用している。 ・授業の活動について、「身についたと思う知識や技能」、「どんなことを考え、話し合い、どう考えたか」、「これからの生活にいかせそうか」の3つの視点について振り返りを記述させている。また、学習した内容が生活へどのような影響を与えているかを考えさせるために、「社会面」、「環境面」、「経済面」の3つの視点と関連付けて考えさせる様式にした。</p> <p>○評価について</p> <p>A：活動についての振り返りの記述と内容の3つの視点(いずれか一つでも可)を関連付けて書いている。 B：活動の振り返りのみ記述している。 C：書いてない。もしくは、どの教科でも書けそうな内容の記述をしている。</p> <p>【家庭分野】</p> <p>○単元テストの際に、テストの点数とは関係なく、単元の振り返りをする欄を作成している。「この単元を通して学習した内容を生かして、家庭で挑戦してみたこと、できるようになったことには何がありますか？」</p> <p>A：自分の生活の課題に則した振り返りを記入できている。 B：今日の授業の内容に絡めた一般的な振り返りを記入できている。 C：どの授業にも当てはまる一般的な振り返りを記入している。</p>
<p>項し「 目た学 やも習 指のの 示の振 な、り ど断返 念り ・変更 して た試 行</p>	<p>【技術分野】</p> <p>▼生徒に記述させる時間の確保が困難であり、授業時間内で書きあげることができない生徒もいたため、内容の検討(簡略化)をしていかなければならない。</p> <p>【家庭分野】</p> <p>▼毎時間の授業の振り返りに関しては、それぞれのワークシートの終末に、「今日の授業の内容をどのように自分の生活に生かしたいですか？」という欄を作ろうとしたが、枠をつくったものの、振り返りをする時間を十分にとることができず、こちらが提示したまとめを板書させることも多くあった。</p>

英語科の「学習の振り返り」トライ・リスト

●1年 [両面印刷] [A4縦置き] のプリントを使用。レッスンレシピ表

レッスンレシピ Program Oの終わるごとに

1 大まかな目標、2 学習する教材とページ数、3 授業の内容（授業が始まるまでに終わらせておく準備・授業が終わった後に取り組むべき課題）4 Program Oの授業や学習について振り返ろう（全ての質問に、左上にのマスからつめて書こう）

- (1) Program Oの授業や学習で特に頑張ったことを詳しく書きましょう。
- (2) Program Oの授業や学習で改善すべきことを詳しく書きましょう。
- (3) Program Oの授業（進め方や教材）で先生方にアドバイスや要望を書きましょう。

上記について A B Cで評価する。

●2年 [片面印刷] [A3縦置き] のプリントを使用。単元の学習計画自己評価表

◎単元ゴール、◎単元の学習計画・自己評価

最後に [単元全体を振り返って]

① プログラム全体の取り組みを通して、特にわかるようになった内容、単語、表現は何か。②プログラム全体で分からなかった、または、難しかった内容、表現は何か、それを克服するために自分はどのように勉強をすすめていくつもりか。

2年

・Program 7のレシピ 改良前は

希望的意見、将来的夢などや英語について「今後どうなりたいか」を書かせた。



・7コマが終わり、単元全体を振り返った

Program 9から [単元全体を振り返って] を作り換え変更して

特に がんばったこと、改良すべきこと、アドバイスや要望を書かせようと思っている。

・振り返って仕上げるため 単元1つ1つにおいて書いてはどうか。2つが満たされたらAとして評価

・生徒はこういう指針があれば書ける

思考錯誤は 「がんばっていきこうと思う」 など

・粘り強さは 教科的なことがあれば ー 英語的用語があるなど・

習った表現も入れてわかるようになったか。

●A B C評価

・内容で、語数で、具体的に（主体的に）書ける

・具体的に尋ねると具体的に答えた

ペアワークなどで「友達に対してすごいと思ったことは何か」なども考えられる。